



第4回理事会

日時 平成28年10月8日（土）16：00～17：25
場所 グランドパーク小樽 5階「銀河」
出席者 （理事）長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・橋本・水谷・山科・岡部・生駒・笹本各常任理事、松家・佐藤・恩村・阿久津・沖・山下・稲葉・久島各理事
（監事）津田・藤瀬・篠島各監事
（代議員会議長・副議長）本間議長
（日医裁定委員）城委員
（事務局：安達事務局長ほか15名）

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 報告事項

(1) 第1回都道府県医師会長協議会〔9月20日（火）〕について（深澤副会長）

各医師会より提出された10題について、協議がなされた。データヘルス計画実施事業について、日医・羽鳥常任理事より、医師会および医師の関与がなく事業が進められていることは、事業開始前から懸念していたことであり、今後あらゆる機会を利用し、行政、医療保険者等に対し是正を求めていくと答弁された。至近の中医協高額医薬品対応について、松本常任理事より、がん免疫療法のオプジーボ等、市場規模が極めて大きい新薬の薬価収載が続いており、医療保険財政への影響が大きいことから喫緊の課題であると認識した上で、中医協で緊急的な対応を協議するよう要請していくと答弁された。また、認知症疾患医療センターの設置、受診時定額負担、定期予防接種等について、協議がなされた。

(2) 日医理事会報告（長瀬会長）

アジア大洋州医師会連合(CMAAO)タイ総会の件、中医協の件、第47回社会保障審議会医療部会の件等につき報告の後、「日本医師会最高優功賞」候補者推薦に関する内規変更、公益財

団法人日本学校保健会からの平成28年度助成金申請、第2回都道府県医師会長協議会開催、資金運用委員会設置の件等につき協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合会において、理事会と常任理事会の任務について、対策型胃内視鏡検診の円滑な導入に向けての要望、群大問題について等の意見交換を行った。

(3) 日医裁定委員会報告（城日医裁定委員）

選任後第1回目の委員会が開催され、委員長・副委員長の選出と、定款上に規定されている本委員会の役割についての説明や、過去の審議状況等の報告があった。

(4) 日医各委員会報告

1) 産業保健委員会〔9月30日（金）〕について（生駒常任理事）

10月13日（木）開催の第38回産業保健活動推進全国会議に提出された質問・要望事項について確認を行った。その後、労働安全衛生法に基づく定期健康診断等のあり方に関する検討会、産業医制度のあり方に関する検討会について議事が進められ、会長諮問「医療機関における産業保健活動推進のための具体的方策」に関わる①産業保健委員会答申、②勤務医の健康支援に関する検討委員会答申についてフリートーキングが行われた。

4. 承認事項

(1) 外部各委員会等委員の推薦について

（三戸常任理事）

前回の理事会（8月20日）以降推薦依頼のあった、北海道助産師出向支援事業協議会委員に藤井常任理事を推薦することを承認決定。

5. 協議事項

第1号 平成28年度北海道医師会表彰に関する件

（三戸常任理事）

当会表彰規程にもとづく70歳以上で会員期間20年以上の会員104名、本会役員・代議員を通算15年以上の会員2名、A会員の病院・診療所・老人保健施設従業員337名、国公立等医療施設従業員94名、医師会職員9名、ならびに規程第4条による特別表彰者1名の合計547名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者と決定。

第2号 理事提案事項

特になし。

6. 道総医協関連事項（深澤副会長）

8月20日開催の第3回理事会報告分以降の会議について報告した。

7. 閉 会

第15回常任理事会

日時 平成28年10月11日（火）18：30～20：32
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・林・笹本・櫻井各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事

（事務局：安達局長ほか12名）

協議事項

第1号 北海道医療審議会委員の推薦依頼に関する件（三戸常任理事）

長瀬会長ほか7名の前任委員を引き続き推薦することと決定。

第2号 「平成28年熊本地震」北海道医師会災害対策本部会議の解散に関する件（目黒常任理事）

日医の対応に合わせ10月11日付をもって解散することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座46件、道医認定生涯教育講座45件の計91件を承認。

報告事項

1. 都道府県医師会JMAT担当理事連絡協議会〔9月21日（水）・東京都〕について（目黒常任理事）

平成28年熊本地震における災害救護活動をテーマに開催された。統括JMATの創設、全国知事会との連携強化、災害拠点病院の受援を含めたBCP（業務継続計画）の作成・耐震化の推進など、多くの課題があることを認識し、これらの課題を解決すべく情報共有し、意見交換を行った。

2. 第96回北海道医学大会総会・平成28年度北海道医師会賞贈呈式〔10月1日（土）〕について

（櫻井常任理事）

塚本会頭（札幌医科大学学長）のもと、はじめに行われた贈呈式では北海道医師会賞ならびに北海道知事賞として、7名が受賞された。引き続き、各科トピックス4題の講演が行われた後、独立行政法人医薬品医療機器総合機構・近藤理事長より「レギュラトリーサイエンスに基づくイノベーションの活性化」をテーマに特別講演が行われた。参加者は144名であった。

3. 総務省委託事業遠隔医療実証 第1回運営協議会〔10月4日（火）・旭川市〕について（藤原副会長）

本運営協議会は、総務省の事業であるモバイル端末を利用して遠隔医療サービスの普及を図るため、モバイル端末とクラウド間のセキュリティの水準を検証することを目的として設置されたものである。協力医療機関は旭川医科大学病院ほか6病院、請負企業は株式会社アルム。今回は本事業の名称を「ク

ラウド型救急医療連携支援事業」と決定し、事業の実施計画について説明が行われた。今後、運用・実証を行い、本年12月に実証結果を厚生労働省等に提出予定である。

4. 第58回全日本病院学会〔10月8日（土）～9日（日）・熊本市〕について（伊藤常任理事）

社会医療法人社団高野会・山田理事長（大腸肛門病センター高野病院院長）が学会長となり「地域医療大改革～豊かな未来への取り組みをくまもとから～」をメインテーマに2日間にわたり開催された。特別講演Ⅰとして、日本医師会・横倉会長より「日本医師会の医療政策」、特別講演Ⅱとして、厚生労働省・神田医政局長より「地域医療構想とその進め方等」が行われた。また「熊本地震と医療体制 県内・県外の動き」と題し、6名の講師より本年4月に発生した熊本地震での医療活動に関するシンポジウムが行われた。その他、熊本地震や地域医療構想に関する数多くのセッションが開催され、参加者は約3,000名であった。次回は、平成29年9月9日（土）～10日（日）、石川県金沢市で開催予定。

5. 外部各委員会報告

(1) 第3回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会〔9月23日（金）〕について（小熊副会長）

前回までの委員会で懸案事項となっていた診療科の選択と配置先医療機関の確保については、制度の適切な運営を図るため、一部文言を修正した上で「地域枠医師の配置等の考え方」を成案とすることとした。今後、北海道医療対策協議会に報告し、さらに協議を行い、来年4月に施行する予定。

6. 各部報告

(1) 当会の医療事故調査等相談窓口対応状況について（水谷常任理事）

9月13日から10月10日までに、標記相談窓口において当番の役員が直接対応した案件が無かったことを報告した。

第16回常任理事会

日時 平成28年10月25日（火）18：40～20：37
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・林・笹本・櫻井各常任理事、藤瀬・篠島各監事
（事務局：安達局長ほか11名）

協議事項

第1号 母体保護法医師指定および更新に関する件（三戸常任理事）

10月19日の審査委員会で指定「可」とされた新規1名、施設名称変更に伴う再審2名の申請者を指定

医師とすることに決定。また、2年に一度の指定医更新については、更新申請者227名を指定医師とすること、さらに指定医師の研修機関については指定要件を満たした38機関を指定することと決定。

第2号 日本医師会医療政策会議および健康食品安全対策委員会の委員推薦に関する件

(三戸常任理事)

医療政策会議委員に長瀬会長、健康食品安全対策委員会委員に山下理事を推薦することと決定。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件 (生駒常任理事)

認定要件を満たした新規27名、更新114名の申請を承認し、日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件 (岡部常任理事)

認定要件を満たした更新15名の申請を承認し、日医へ申請することと決定。

第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座32件、道医認定生涯教育講座36件、合計68件を承認。

第6号 郡市医師会長協議会 [11月13日(日)] の議題に関する件 (三戸常任理事)

11月13日(日)午前10時から北海道医師会館において開催する郡市医師会長協議会の議題について決定。

第7号 その他

(1) 11月行事予定に関する件 (事務局)

報告事項

1. 介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会 [8月31日(水)～10月13日(木)] について (林常任理事)

北海道からの委託事業として実施している本研修会を道内6地域で開催した。小職をはじめ担当役員が介護保険制度における主治医意見書の記載例を解説し、同制度の概要と障害者総合支援法については、北海道の担当者が説明を行った。出席した医師には北海道保健福祉部長名でそれぞれの受講修了証が交付される。参加者は565名であった。

2. 第60回社会保険指導者講習会 [10月5日(水)～6日(木)] について (笹本常任理事)

「アレルギー疾患のすべて」をテーマに、日医と厚生労働省主催のもと開催された。各講師からは、アレルギー疾患発症のメカニズム、アナフィラキシーの診断と治療、小児気管支喘息の診断と治療、アレルギー性鼻炎・花粉症の診断と治療、アレルギー疾患治療の現状と将来展望等について説明があった。続いて、厚生労働省保険局・迫井医療課長より「社会保障を巡る課題と診療報酬での対応」と題して、厚生労働省医政局・神田局長より「地域医療構想・療養病床について」と題して、それぞれ説明があった。最後に日医・中川副会長より「高額な薬剤

への対応」について説明した後、今回のテキストは、アレルギー疾患の概要について網羅しており、日常診療に役立てて欲しいと締めくくった。

3. 北海道三師会 [10月7日(金)] について

(三戸常任理事)

本年度は北海道歯科医師会の当番で開催した。当会からは「地域包括ケアの推進について」をテーマに、藤原副会長より発表し、その後懇談を行った。

4. 第38回産業保健活動推進全国会議 [10月13日(木)・東京都] について (生駒常任理事)

茨城産業保健総合支援センター・小松所長ならびに酒田地域産業保健センター・浅井コーディネーターから、各センターの取り組みについて活動事例報告、厚生労働省労働基準局安全衛生部・武田安全衛生課長より最近の労働衛生行政の動向について報告が行われた。続いてシンポジウムでは、北里大学・相澤好治名誉教授ほか3名により講演、総合討論が行われた。その後、4名の発言者から事前提出された質問について回答した。参加者は313名であった。

5. 札幌弁護士会主催シンポジウム「専門職養成のおかれている現状と将来」 [10月14日(金)] について (小熊副会長)

弁護士、医師、歯科医師の3名のパネリストにより、各専門職の立場から「毎日の暮らし」「養成課程の現状と課題」「今後の将来」「これから各専門職を目指す皆様へのメッセージ」等について、意見を交わした。参加者は57名(札幌北高校生2名を含む)であった。

6. 日本医師会医療安全推進者養成講座講習会 [10月16日(日)] について (水谷常任理事)

一般社団法人日本病院薬剤師会・土屋副会長から「薬剤師の視点からみた医療安全」、独立行政法人医薬品医療機器総合機構・俵木組織運営マネジメント役から「PMDAにおける医療安全の取り組み」、千葉大学医学部附属病院医療安全管理部・相馬教授から「多職種で取り組む医療安全」と題して、それぞれ講演が行われた。参加者は250名であった。

7. 医政講演会 [10月16日(日)] について

(笹本常任理事)

医療計画の見直し等に関する検討会座長、社会保障審議会 医療保険部会および同審議会介護保険部会部会長など多くの公職を務められる学習院大学経済学部・遠藤教授を招聘し、「医療制度改革の現状と課題～人・モノ・金はどう動くのか～」というテーマで、医療制度改革の方向性について講演が行われた。参加者は87名であった。

8. 医療政策等検討委員会 [10月16日(日)] について (笹本常任理事)

医政講演会に引き続き、遠藤講師同席のもと開催した。小職より地域医療構想の進捗状況などを説明した後、各委員より各地域の地域医療連携および医療と介護の連携などの現状の報告があり、意見交換

を行った。

9. 第2回勤務医部会運営委員会ならびに第1回若手医師専門委員会 [10月16日(日)] について

(藤井常任理事)

本年度、新規に設置した若手医師専門委員会を、運営委員会に先立ち開催した。委員長に岩見沢市立総合病院・藤根委員、副院長に札幌医科大学附属病院・村山委員を選出し、委員会の活動方針も含めて、来年度に北海道で開催する全国医師会勤務医部会連絡協議会における若手企画のシンポジウムについて検討した。引き続き、午後から開催した運営委員会では、5月に実施した地域医療の現況調査の集計結果に基づき作成する報告書の内容、12月4日(日)に開催する勤務医部会全体会議の次第、来年度の全国医師会勤務医部会連絡協議会のシンポジウム等について、若手医師専門委員会で協議した内容も併せて検討した。

10. 自民党道連 道政課題に関する平成28年度「団体政策懇談会」 [10月19日(水)] について

(笹本常任理事)

長瀬会長他7名の役員が出席し、国民皆保険の堅持、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築の推進、航空医療体制の整備、社会保険診療等に対する消費税問題の抜本的解決など医療政策に関する21項目について、自民党道連に対して要望し、意見交換を行った。

11. 医療経済フォーラム・ジャパン「第15回公開シンポジウム」 [10月20日(木)・東京都] について

(笹本常任理事)

「日本経済と医療保障財源」をメインテーマに開催された。医療経済研究機構・西村所長の基調講演の後、自由民主党・田村衆議院議員、民進党・岡本衆議院議員、公明党・秋野参議院議員、日本共産党・小池参議院議員、日本維新の会・東参議院議員の5名からそれぞれの考えが述べられ、その後、質疑応答が行われた。参加者は約450名であった。

12. 第40回北海道救急医学会学術集会 [10月22日(土)・帯広市] について (目黒常任理事)

参加者数は364名(速報値)、発表演題数は、一般演題78題、特別講演2題、パネルディスカッション6題、交流セッション1題の合計87題で、過去最多であった。特別講演では、救急振興財団救急救命東京研修所・田邊教授から「病院前救急医療のトピックス」、招待講演では、東京医科大学麻酔科学講座・今泉教授から「新たなG2015を活かす；スキルアップして救命率を高めよう」と題してそれぞれ講演が行われた。また、15名の初期臨床研修医による演題発表が行われ、「急性メタノール中毒に対するホメピゾールの使用経験」について発表を行った市立函館病院救命救急センター・佐藤先生が初期研修医最優秀演題賞を受賞した。次回は、来年11月18日(土)にホテルライフォート札幌において、市立札幌病院

救命救急センター・牧瀬センター長が当番幹事となり開催予定である。

13. 日医理事会報告 (長瀬会長)

第5回日本医師会赤ひげ大賞選考会の結果の件につき報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合せにおいて、四国厚生支局の指導について、共同利用施設における外来栄養食事指導料の算定について、日本専門医機構の財務状況について、医療事故調査制度における都道府県別報告数公表の要望について等の意見交換を行った。

14. 外部各委員会報告

(1) 第7回新・北海道病院事業改革プラン改定検討会議 [10月13日(木)] について (小熊副会長)

道立6病院(江差病院、羽幌病院、緑ヶ丘病院、向陽ヶ丘病院、北見病院、子ども総合医療・療育センター)について、経営効率化のため、2017年度より地方公営企業法の全部適用へ移行し、経営の自由度を高めて、職員の勤務条件の改善や医療環境の変化に機動的、効率的に対応できるように組織体制を強化していくこととなった。

(2) 北海道死因究明等推進会議 [10月14日(金)] について (水谷常任理事)

本推進会議は、死因究明等推進計画(平成26年6月13日閣議決定)に基づき、道内における死因究明の現状把握および推進方策を協議するため、北海道が昨年12月に設置し、2回目の会議が開催された。議事では、各委員から北海道における死因究明および身元確認の問題点等について報告がなされた後、意見交換を行った。

(3) 第1回北海道衛生検査所精度管理専門委員会 [10月17日(月)] について (北野常任理事)

昨年度の衛生検査所立入検査実施結果等および外部精度管理調査(ブラインド調査)結果等について報告があった。その後、本年度の実施計画(案)について協議を行った。

(4) 第1回北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会 [10月24日(月)] について (伊藤常任理事)

がん検診の受診促進とがん検診の信頼性を高めるため、各市町村や職域で実施するがん検診の精度の向上を目指すには、外部有識者の意見を伺いながら検討を行う必要があることから、北海道がん対策推進委員会(委員長：当会・長瀬会長)内に本専門部会が設置された。がん検診の精度向上には、各市町村に現在の要精検率等を把握した上で、検診精度の向上に努めてもらうとともに、がん検診チェックリスト(精度管理の指標として用いる事業評価用リスト)の100%回収を目指すこととなった。

15. 中央情勢報告 (笹本常任理事)

「日本医師会 第60回社会保険指導者講習会について」

厚生労働省保険局・迫井医療課長および厚生労働省医政局・神田局長が、社会保障を巡る課題と診療報酬での対応、地域医療構想ならびに療養病床について講演された。その後、日本医師会・中川副会長より最近のトピックスとして、高額な薬剤への対応について説明がなされた。

16. 各部報告

- (1) 平成28年度病院管理研修会 [11月12日(土)] の開催について (伊藤常任理事)

出席役員に対し、標記研修会の開催案内を行った。

- (2) メディカルウイングの本格運航を目指す道民集会 [11月20日(日)] の開催について

(目黒常任理事)

出席役員に対し、標記集会の開催案内を行った。

お知らせ

不当クレームならびに暴力行為に対するポスターについて

◇医療関連事業部◇

北海道医師会勤務医部会では、勤務医が抱える多くの問題の一つである、医療機関に対する不当クレームや暴力行為から医療者と他の患者を守るため、院内掲示用に「暴力追放宣言ポスター」を作成し、平成26年6月に各医療機関に配布いたしました。

ポスターには、院内暴力、迷惑行為を許さないことを宣言し、覚せい剤などの危険物の病院持込み行為の禁止、警察への通報や診療の中止、強制退院、損害賠償請求などの処置をとることの予告など、病院の意図を明確にしたものを3種類作成しております。

ご希望の医療機関にはお送りいたしますので、北海道医師会事業第三課までご連絡ください。なお、同ポスターは北海道医師会ホームページからもダウンロード可能です。



- 北海道医師会事業第三課 TEL (011) 231-1726 Mail 3ka@m.douji.jp
- URL http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/d_members/poster.php